

平成30年度バス交通活性化事業について

1. 美山・日吉エリア

(1) 昨年度検討の改善策のフォローアップ

- ・平成29年度に改善策をとりまとめた美山・日吉の2地域について、平成30年度は、運賃や運行ダイヤなどに関するフォローアップを実施する。
- ・また、美山・日吉地域の小学校での交通学習によるモビリティマネジメントも実施する。(美山小学校を予定)

2. 園部・八木エリア

(1) 利用状況調査の企画・実施

- ・利用状況調査に先立ち、調査票の設計・作成、調査人員の配置計画などの作業計画を作成した上で、利用促進を図るための利用状況調査を実施する。
- ・平成30年度の調査は、園部・八木地域の原神吉線(OD調査)、園篠線(OD調査)、市街地循環線(バス乗降調査)を想定している。
- ・その他、駅・バス停勢圏の人口把握、工業団地の把握、交通事業者ヒアリングなどを想定している。

(2) 利用促進事業の企画・支援

- ・市役所が地域でワークショップを開催するための企画・支援を行い、講師およびファシリテーターを派遣する。
- ・また、ワークショップ以外の利用促進(情報提供など)に資する取り組みについても支援する。
- ・平成30年度は、園部・八木地域(神吉や八田、新光悦村など)での利用促進を想定している。

(3) 改善策のとりまとめ

- ・調査結果・課題等を取りまとめ、ダイヤ、路線再編や運行管理等を含む改善策をとりまとめる。
- ・平成30年度は、園部・八木の2地域を中心とした改善策を想定している。